

今回の補正予算で和橋の耐震補強を行うとのことだが、市内の橋梁の耐震化をどのように計画しているのか。

市指定の緊急の輸送路において補強を要する橋が6橋あります。既に対策済みの高西橋、現在補強を行っている広愛大橋、今回の補正予算で補強予定の和橋、残る雲座橋、上田橋、天神橋は来年度の施工を予定しています。



補正予算で耐震補強を行う「和橋」

沖之川流域の水田貯留施設整備は、どのような方法で行い、どのくらいの効果が期待できるのか。

田ごとにあぜを30センチ上げます。うち20センチ分に雨水の貯留が可能となります。貯留量は面積掛ける20センチとなりますので、今回の整備面積16,500平米では3,300トンほどが貯留できます。なお、村松地区の全体計画では159,000平米に対し、3万トン余が貯留可能となります。

17年度におけるシルバー人材センターへの補助金額は、1,765万円であった。補助の目的とその必要性は。

市からの補助は、主に人件費に充当しています。袋井・森地域シルバー人材センターの契約金額は、平成17年度3億円余でありましたが、事務費は、契約金額の5%であるため、事務職員の人件費等については補助しないと厳しい状況です。

地域振興基金積立金17億円はいつどのように積み立て、利息はいくらか。

平成18年3月27日に遠州中央農協から借り入れ利率1.1%で、16億1,500万円を借り入れ、一般会計8,500万円を加えて、運用利率1.7%で10年県債を17億円で購入した。

地域振興基金...合併特例債を活用し、市民相互の交流や連携を深めるとともに、地域振興を図ることを目的にした基金。

非常勤である学校司書の時間単価及び今後全校に正規の職員として配置していく方向は。

現在3人の学校司書が配置されており、時間給は910円で、1日あたり4時間、160日を予定しています。教育委員会では、心ゆたかな人づくりに取り組んでいることから、今後も読書活動の一層の充実を図っていきたいと考えています。司書配置の効果は大変大きく、可能な限り増やしていきます。